

# 琉球大学学術リポジトリ

## 可変半径プロット法による林分材積測定法について (4)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 砂川, 秀昭 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19799">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19799</a>

上表によるとやはり保温、加温の効果はげんちまで、4から9までの各区では明らかにこの事が表われている。1、2、3区

	中生橋真				久留米長茄子			
	定植時の草丈	定植1ヵ月後の草丈	5月13日の開花数	5月13日の着果数	定植時の草丈	定植1ヵ月後の草丈	6月17日の開花数	6月17日の着果数
1	13.6cm	22.0寸	8.5	3.0	12.9cm	11.7寸	7.9	2.7
2	11.2	19.3	5.0	4.3	11.0	14.3	6.7	4.5
3	10.8	18.1	4.5	4.0	10.5	14.2	6.8	2.6
4	13.2	20.8	10.2	4.7	12.7	14.6	9.0	5.2
5	9.5	17.5	9.0	4.2	10.2	14.3	6.6	4.8
6	8.1	15.7	8.3	3.5	9.3	12.7	6.2	5.0
7	9.8	17.1	7.6	4.2	9.9	13.3	7.4	2.3
8	8.8	15.2	7.4	4.0	8.3	12.7	8.2	1.8
9	9.2	14.0	6.3	2.5	7.5	12.5	6.5	1.5

第七表 育苗方法の相違による定植後の茄の生育開花及び結果予備試験成績 (1月19日播種、6本の平均植果は中生橋真3寸大久留米長茄子6寸大の時収穫)

のものが、3、4、5区のものに劣るのは二つの理由が考えられる。第一に定植前根回しをしなかったため、大苗の活着力が悪かった。この事は久留米長ナスの1、2区の定植一ヵ月後の丈が3、4区のものに劣る事に明らかに表われている。

第二に昼夜高温区は夜冷育苗区に開花数着花率共に劣る事で、夜冷育苗も効果はげんちまでであると考えられる。なお第一の理由と関連して、1、2、3区では定植の時の断根が滅数分裂期にあった花の質を低下させたとも考えられる。又2等の区は硬化も行われておらず、この点でも活着に不利であったであろう。

へチマの育苗では種子の発芽率が低く、精密な試験は不可能であったが、A、D鉢では九日目、F鉢では十日目に発芽始めとなった。何れも二日後には発芽揃いとなったが、ナスの場合と同様に生育は著しく異った。G、H、J鉢の苗は播種二十日後に至って芽を切り、一ヵ月後に至るもは軸は伸びなかった。以上の結論として沖繩で、一二月に高温に保ち、後期のナスの育苗では夜冷育苗するのが良いと考えられる。

### 五、むすび

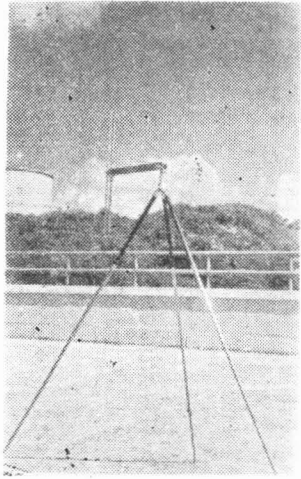
今後のそさい栽培は国民保健の見地から最も栄養、ビタミン類の生産力の高いものを、労力、資材、輸送関係等とも考え合わせて選択し、輸送関係の合理化を計らなければならない。そのためには食生活の改善に相まって、栄養的価値の割合少ない果菜類の生産量を限定すると同時に、圃場使用期間に比して収穫期間を長くする様に生産計画を樹てねばならない。先ず六月中旬からの高温期と台風期前に果菜類の生産を打切る事を前提として、それまでの収穫期間を長くするために、出来るだけ早くから育苗して、大苗を定植しなければならぬ。かくする事により、草丈の高い四、五月に出荷する事が出来、又この期間の出荷量が多くなれば六、七月に草丈が急激に下落する事も防げるようになる。

育苗の方法には露地、冷床、温床育苗の方法があるが、此処では温床育苗の利点について述べた。

また早くから育苗する事が可能であるが、この場合には労力は少なくて済むが、苗床を長期間使用する事になる。集約栽培では矢張り温床育苗が必要である。この場合は夜冷育苗根回しは重要な作業である。(元) (友寄長重)

可変半徑プロット法による  
林分材積測定法について  
(4)

七、扇田助教の測定期について  
今まで木梨助教が林技官の考案されたものについて述べてきたのであるが、更に本誌の長さを短くし(二五cm)静置出来るように脚を取付け傾斜地においても測定の手数を省くことが出来るように考案されたものが東大扇田助教の測定器であつて第13図の如き構造をしている。



第 13 図

即ち、三脚に二五cmの長さの測桿を取付け(測桿には水準器があつて水平に静置される)測桿の先端に上下二〇cmのスリットがつけられるようになっておりこの中が三段階に(一)cm、〇・七五cm、〇・五cm)調即されるように考案される。

一、測ろうとする林分の面積  
この方法では林分の平均一ha当りの断面積合計を算出するのであるから対象となる面積は何百町歩でもよいわけだが林分

